岡村多佳夫が語る モダン・アートへの道（全 6 回）

第 1 回「ルネサンスからバロックへ　アルプスの南と北」

16 世紀ヴェネツィア派の画家、パオロ・ヴェロネーゼの大作《カナの婚礼》はキリストの奇跡の物語を描いたものですが、その主題よりも楽器を演奏している人たちが目立っています。それは、婚礼の喜びに満ちた世界を表わそうとしたからだと思います。
15 世紀のフィレンツェで花開いたルネサンスの文化は、この地で新たな世界を獲得していきました。
今回はそのルネサンスからバロックへと変遷していく美術の流れを見ながら、その時代の音楽を聴いていただきたいと思います。

2017. 1. 18 水
19:00 開演（18:30 開場）
Tokyo Concerts Lab.
3,500 円　全席自由

ご予約・お問い合わせ
東京コンサーツ TEL03-3200-9755

お話：岡村多佳夫

リュート：佐藤亜紀子

岡村 多佳夫 Takao Okamura

Talk

1949 年東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科芸術学（美術史）博士課程単位習得満期退学。
元東京造形大学教授。国際美術評論家連盟会員。
著書：『バルセロナ―自由の風が吹く街』（講談社現代新書）、『ダリ』（小学館）、『ピカソ』（角川文庫）、『ピカソの陶芸』（ピエ・ブックス）他多数。
訳書：『ロシア・グラフィック・デザイン』（美術出版社）、『ポスト・ポップ・アート』（スカイドア）他多数。
展覧会企画・監修：『ピカビア展』（伊勢丹美術館他）、『デペロ展』（東京都庭園美術館）、『ミロと舞台美術』（伊勢丹美術館他）、『ダリ生誕 100 年記念展』（上野の森美術館）他。

佐藤 亜紀子 Akiko Sato

Lute

東京芸術大学音楽学部楽理科卒。左近径介氏と水戸茂雄氏にリュートの指導を受け、ドイツ国立ケルン音楽大学で K. ユングヘーネル氏に、スイスのバーゼル・スコラ・カントールムで H. スミス氏に師事。
2010 年まで東京芸術大学音楽学部古楽科教育研究助手。現在は独奏及び通奏低音奏者として活動中。
「ラ・ストラヴァガンツァ東京」のメンバーとして NKH の「らららクラシック」に出演、「バッハ・コレギウム・ジャパン」、「ソフィオ・アルモニコ」などの録音に参加。バロックオペラや歌手、器楽奏者との共演多数。
台東区芸術文化支援制度対象事業として音楽物語「ジョン・ダウランド物語」をプロデュース。
ソロ CD「ララバイ〜イギリス・ルネサンス期のリュート音楽」をリリース。
レクチャーコンサート、子供向けコンサート、被災地支援コンサートなども行う。
アイゼナハ音楽院リュートクラス講師。アトリエ楽古主宰。http://www.atelierlakko.com

ご予約 / お問い合わせ

東京コンサーツ
03-3200-9755
（平日 10:00 〜 18:00）
お電話にて、公演名 / お名前 /
電話番号 / 人数をお伝えください。

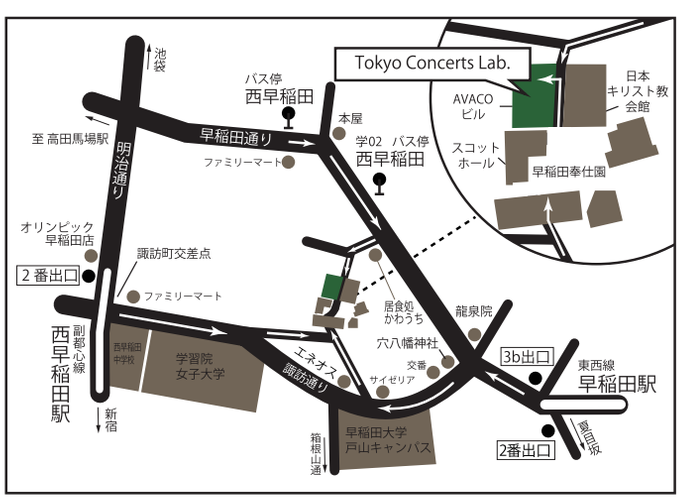
ラボ公式サイト
http://tocon-lab.com/event/170118
公演特設ページよりご予約いただけます。

精算はすべて当日、
会場にて行います。

受付にてお名前を
お申し出ください。

アクセス

トーキョーコンサーツ・ラボ

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
AVACO ビル1階

東京メトロ東西線早稲田駅より徒歩 6 分
東京メトロ副都心線西早稲田駅より徒歩 10 分